

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、
災害時には、危険な場所にいる人は
避難することが原則です。

◇避難時における感染症対策◇

《知っておくべき5つのポイント》

- 避難とは「難」を避けること。

安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。

- 避難先は小中学校・公民館だけではありません。

安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

- マスク・消毒液・体温計が不足しています。

できるだけ自ら携行して下さい。

- 市町村が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている
可能性があります。

災害時には市町村ホームページ等で確認してください。

- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。

やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。

※内閣府（防災担当）ホームページより



今すぐ出来る災害への備え

1 避難場所・避難経路の確認

避難場所・避難経路を確認し、家族でどこに避難するかや、避難時の連絡方法も決めておきましょう。

2 非常用持ち出し袋の準備

衣類や薬、ラジオや懐中電灯等を入れたリュック等を準備し、いつでも持ち出せる場所に置いておきましょう。

3 食料品の備蓄

食料や飲み水等を備蓄しておきましょう。（できれば約1週間分）

4 危険箇所を知る

市町村等が公表しているハザードマップ等で危険箇所を確認し、災害が発生した際は絶対に近づかないようにしてください。

5 訓練に積極的に参加する

防災に関する訓練が行われる場合は、積極的に参加し、災害時には住民同士が協力できる関係を築いておきましょう。



福島県警察本部災害対策課

